

放課後等デイサービス 生活介護事業

ふれあい広場・支えあいの会 通信

特定非営利活動法人

元気福祉就労支援ボランティア

220-0073横浜市西区岡野2-3-30 TEL:045-320-0732

Email: hureaihiroba0901@gmail.com

ふれあい広場(平日12時から18:30)
ご両親がフルタイムで御働きになれ
ますようにご利用時間を柔軟に対応させ



支えあいの会(10時から16時)
・保護者のご都合に合わせて早
いお迎え、遅くまでのご利用を相
談させていただきます。



たまひよより その4(最終章)

同じような境遇のご家族とつながれるSNSや、リアルで会える親子会などのイベントもあるので、なにか心のよりどころになるものを見つけていただければと思います。

正輝 僕は、人工呼吸器をはじめとした医療的ケアが当たり前に見える時代になってほしいと思っています。今は、機械を持ち歩いて外出しているのが不思議に見える方もいるかもしれません。でも、今の時代の人工呼吸器は、言ってみれば江戸時代のメガネのようなものです。メガネは戦国時代に日本に入って江戸時代にどんどん広まったようで、最初は装着してたら珍しくて目立っていましたが、今はもう当たり前ですよね。なんならおしゃれアイテムにもなったりと。それと同じように、将来は、人工呼吸器などの医療的ケアが必要な人が受けていることを自然なこととして感じられる時代になると思っています。そのためには、医療的ケア児をはじめとした様々な疾患・障がい児の存在やその生活を知ってもらうところからだと思います。見慣れないものは誰も怖かったり、構えたりします。しかし、実際知ったり触れ合ったりすると、そういった子どもたちは健全の子どもたちと変わりがないことにすぐに気付きます。それが積み重なっていくことで、世の中も変わってくると思います。そして、障がい児や疾患児を育てていらっしゃるご家族にお伝えしたいのは、日々の生活は大変だし、苦労もあるかもしれないけれど、イコール不幸ではないということです。僕たち自身も不幸だとはまったく思ったことはありません。今、もしお子さんを授かって不安がある方、出産してNICUにお子さんが入院して不安な方がいたら、幸せなことがいっぱいあるから、希望を持って生きていってほしいと伝えたいです。

また、お子さんの疾患や障がいを知り、まだ障がい受容に苦しんでいる人がいたら、この言葉を信じてほしいと思います。「最初から受け入れられる親はいないし、時間をかけて受け入れられない親もいない」
お話・写真提供/新井正輝さん、ゆりこさん 取材・文/樋口由夏、たまひよONLINE編集部

◎11月1日(金)は駅のトイレ調査の日です。

話し合って南武線の中野島駅のトイレの調査をしようということになりました。横浜駅に着きエレベーターが見えると五木田さんは小走りになってボタンを押してくださいませ。川崎まで早いです。南武線の各駅停車は時間がかかります。中野島駅には折りたたみ式の大きな方でもおむつ交換できるベットがありました。名カメラマンの稲垣さんにカメラのシャッターを押していただきました。今日も五木田さんは落ち着いていらっしゃいます。中野島の由来です。



今日も五木田さんは落ち着いていらっしゃいます。中野島の由来です。多摩川の川中にある島を思わせる地形から中野新田と名付けられ、中野島と呼ばれるようになったとのこと。川崎駅のホームで東海道線下りに乗ろうとした時です。電車とホームの段差が大きかったです。いつもは腕の力だけで持ち上げていました。足も使って踏んで持ち上げようとしていたら中年の男性がパッと来て協力してくださいました。その方も横浜駅で降りられました。何でも感謝の会釈をさせていただきます。



11月の四階の社会体験学習先は世田谷区二子玉川にある二子玉川ライズにしました。初めです。第三京浜の終点から環状8号に入ります。多摩美大の裏のようなところにあります。東急が2011年に設立したものです。フードコート歩き、ウィンドウショッピングを楽しんでいただきま



10月のサミット外食

どのお店で何をたべたいかを事前にアンケートを渡して、ご家族さまにも協力して頂きました。おかげさまで、楽しい外食の時間を過ごすことができました。また行きたいとの声もありますので企画します。高橋昊楽【企画部】



三階活動



どんな書類でも作成できるように練習中です。



岡部さん。グリーンフェイスできあがりましたよ。



アイロンピズに挑戦します。

11月9日(第二土曜日)がっぴートでのフードパントリー



受け付けは僕たちに任せてください



社内フードドライブで集めて、毎月ご寄付頂いています。いつも、ありがとうございます。

・がっぴートでのいいふらんさんの子ども食堂のお弁当配布光景です。

・ふれあい広場、支えあいの会の玄関でもいいふらんさんの子ども食堂のお弁当を毎週日曜日11時から配付しています。サミット周辺に看板を設置します。80職のお弁当が1時間でお持ちかえりになられます。このような活動をさせていただきますことを心より感謝致しています。

げんき 1階 (重症心身障がい児部) 5名

すっかり、夏は過ぎまして、肌寒くなる季節が、やって参りましたね。これから、本格的な冬に突入していくと思われしますので、この時期の体調管理を大切にしていきたいと思います。梅雨の時期なのかと思うくらいに雨が降りますが、合間や可能な時間帯でのお散歩等の外出は、現在でも多くの頻度を確保出来て居ります。この記載している128号は、10月中での行事と、成っておりますので、ハロウィンが主な行事となりました。その他では、日常生活活動を基本とした動作への機能訓練やマッサージ等を行いながら、一つのコミュニティーで有る事に有効性を示す物で有る訳ですから、そのコミュニティー空間と関係性を育てて頂きたく時間等を設置しています。つまり、対人接触等の交流時間です。そこでは、移動できる子どもは好きに移動してもらい、出来るだけ、お友達間の交流になるようにしています。その他の外出では、お外での食事や東京の砧公園やその他ショッピングモール等へ、お出掛けしています。また、機能訓練では、遊具や道具を使用した身体機能を使用する事と工作等を通じた手先や上腕、等の動作面への機能訓練が増加傾向に有ります。感覚や使用できる箇所を有効に使用する事や普段と違う、より高い普段の動作を取り入れまして、室内でゆっくりと過ごしています。

機能訓練担当 絹雄訓練士 吉村



さわやか 2階 (肢体不自由・視覚障がい児部) 10名



秋の砧公園で

菓子取り競争

鎌倉屋材木店の皆様と

伊藤産業様の店内で

象さんに変身しました

かぼちゃのお化けに



風を受けて疾走！タイムトライアル

風船バレー

バランスボール

少し緊張しています

似合うでしょ？

魔法使いだよ！

今月の支援からピックアップしました

学校行事等で最も活動的な毎日。少々お疲れの日もあれば、学校で楽しかったことを笑顔で教えてくれることも多くありました。ご家庭や先生方との情報共有も大切に、支援に活かしたいと思います。

○さわやかスポーツ週間
風船バレー、玉入れ、バランスボール、車椅子タイムトライアル、菓子取り競争など、得意なことに挑戦していただきました。

○砧公園散策
緑豊かな砧公園で、秋の柔らかな日差しと心地よい風の中の散策を楽しみました。

○ハロウィンイベント
お向かいの鎌倉屋材木店様、平沼高校前の伊藤産業様(お花屋さん)にご協力いただき、仮装をしてお店を訪問。お菓子を手渡していただきました。少し緊張しましたが、優しく話しかけていただき、地域の方と交流出来たことがとても嬉しく意義のあることだと思いました。鎌倉屋様、伊藤産業様、ありがとうございました。

すこやか 5階 (知的・発達障がい児部) 10名

10月に入り、少しは秋めいてきた気がします。子供たちもいろいろなイベントに参加されて、ドキドキやわくわくがあったりして、それなりの波もありますが、それもいい刺激になればと思っています。

さて、5階です。相も変わらず、みんな元気です。そしてそれが何よりも代え難い日常であったりします。今までちょっと体調を崩していた子。少しずつ回復傾向に向かっています。少し、おなかの具合が悪かった子。夏バテだったかな？段々いつも通りです。新しい1年生の子。少しずつルールを覚えて、周りのみんなに支えられながら、一步一步馴染んでくれています。

みんな元気です。でも、彼や彼女たちの日常には、些細なハードルがたくさんあります。特に環境の変化への対応から気持ちや体調を崩してしまうことが多々あります。それでもくじけずふれあい広場に毎日来てくれて、楽しいこともつらいことも一緒に共有してみんなで頑張って乗り越えています。だから、何よりも代えがたい日常なのです。

考えてみれば、私たち大人でさえ、ちょっとした違いなどに躓いてしまうことがよくあります。でも、転んでも起き上がろうとするその姿勢は、彼、彼女たちとなんら遜色ありません。彼、彼女たちも私たちと同じように悩み、同じように感じ、同じように成長します。特別なことではなく、同じただの人間です。そして、彼、彼女らは私たち以上に、自分に素直です。だからこそ、そのひたむきな姿に、私たち大人は、光や兆しを見い出すのではないのでしょうか。そんな思いを抱きながら、今日も支援にあたりたいと思っています。

